

REALIZE  
YOUR  
DREAM

夢をつかもう



家庭  
【中学校】  
学習の  
てびき

つくばみらい市教育委員会

〒300-2395 つくばみらい市福田195番地 TEL, 0297-58-2111 FAX, 0297-58-5711

# はじめに

家庭学習で「自ら学ぶ力」を育てましょう。

小中学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は、欠かすことができない「生きるための力」の一つです。学校では、この生きる力の基となる基礎学力を高めるために日々努力していますが、家庭と連携することで、さらにその力は何倍にも高められます。つまり、家庭学習の習慣化が子どもの「生きる力」を高めるのです。

この家庭学習のてびきを活用し、家庭学習の習慣化を進めていきましょう。

よりよく生きるために学力は大切です。夢を実現するために、学習内容がもっと分かるようになりたいと、どんな人でも願っているはずです。学校での学習と家庭での学習は、どちらもとても大切なのです。全国で行われている調査によると、家庭学習をきちんとする子どもの学力は高いことが分かっています。確かな学力を身に付けるためには、家庭学習が欠かせません。

つくばみらい市教育振興基本計画では、自分の可能性に挑戦する学力を育てることを提唱しています。子どもに確かな学力を身に付けさせることは、学校教育の最重要課題であります。「家庭学習のてびき」を活用して、確かな学力を身に付けていきましょう。

REALIZE  
YOUR  
DREAM

夢をつかもう



家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、  
また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切です。  
小学校のうちに机に向かう習慣を身に付けさせましょう。



## 1 家庭学習のすすめ方

- 担任から出る「宿題」を最初に取り組む。
- 児童生徒の「家庭学習のてびき」の中から選んでやる。(5・6年生には自分で考えさせてもよい。)
- 自分が決めた学習や、読書やお絵かきなど、必ず机に向かうという習慣を大事にする。
- 学習が終わったら、次の日の準備をする。

※ 上記のように、各学校では指導していますので、ご家庭でも声かけをお願いします。

## 2 時間のめやす



分

### 学習時間の例 ( 学年×10分+10分 )

【小学生】	1年生…20分以上	2年生…30分以上	3年生…40分以上
	4年生…50分以上	5年生…60分以上	6年生…70分以上
【中学生】	1年生…80分以上	2年生…90分以上	3年生…100分以上

## 3 家庭学習における保護者の役割

### (1) 学習時間の確保

塾、習いごと、部活動、スポーツなど、お子さんもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで学習する」ということを、家庭でよく話し合っ  
て、無理のないように時間を設定してください。

### (2) 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら学習しても、効果はあがりません。お子さんが落ち着  
いた環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

### (3) 見届け・励まし

お子さまが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり  
励ましたりしてあげることで、お子さまはどんどんやる気を出します。

週に1回は、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげるなどの  
見守りをお願いします。また、お子さまの様子を把握しながら、できるだけ  
一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

### (4) 学校との連携

お子さまの学習について、疑問に思ったことがありましたら担任まで  
お知らせください。



# 中学1年生の学習のしかた

## —中学校生活スタートのために—

こんなことを学習します。

教科	内容
国語	中学校では、小学校の国語学習（「話す・聞く」「書く」「読む」「言語」）を基礎に、次のような内容を学習します。例えば「書く」の領域では、小学校において、相手や目的に応じて段落相互の関係等に注意しながら書く学習を行ってきました。中学校ではさらに「構成を工夫して分かりやすく書く」「論理の展開を工夫して書く」等の学習をします。また、「古典」については、小学校での「音読」中心の学習から、簡単な内容を理解し、先人の考えに触れたり、古典に関する文章を書いたりする学習に発展していきます。「漢字」については、小学校で学習した漢字が、完全に読み書きできるようにします。また、常用漢字の大体を読めるようにします。このように、中学校の国語も小学校で学んだ内容を生かして学習を進めていくのです。
社会	中学校では「歴史」「地理」「公民」という3つの分野に分けて社会科を学習します。5年生の時に学習した内容が地理、6年生の時に学習した内容が歴史、公民にそれぞれ発展していきます。「社会は暗記することが多くて・・・」と苦手意識をもっている人がいるかもしれませんが、覚えなくてはならないことがあるのは社会科だけでなく他の教科も同じです。社会科で大切なのは「つながり」と「なぜ」を考えることです。それらを考えるための土台として、知識をたくさん身に付けるようにしていきましょう。
数学	算数から数学へと教科の名称が変わります。小学校では整数、小数、分数の計算を学習してきましたが、中学校では数の世界が広がり、正の数・負の数の計算まで学習をします。また、小学校では図形の性質を学習してきましたが、それを筋道立てて説明する証明という学習もします。他にもともなって変わる2つの量の学習は、関数という新しい見方・考え方で学習します。このように中学校の数学は、小学校の算数で学習したことをもとに、内容を積み上げて数や図形の世界を広げていきます。数学では、いろいろなもの見方・考え方で物事をとらえ、むだなく合理的に、誰もが納得するよう筋道立てた考え方で課題を解決していく力を身に付けていきます。
理科	小学校で学んだ理科が、中学校の理科では、物理、化学、生物、地学の4つの分野に分かれて、それぞれの単元で自然の事物・現象を科学的に探究していきます。1年生の生物分野では、小学校の植物の育ち方などの学習がさらに深まり、植物の体のつくりとはたらきや植物のなかま分けについて学習します。化学分野では、小学校の水溶液の学習をさらに発展させ、いろいろな物質の性質や状態変化について調べます。物理分野では、小学校のこの原理や光の進み方の学習などをもとに、光の進み方や音の大きさや高さ、力と圧力の性質を学びます。地学分野では、小学校の地層の学習などが深まり、火山噴出物や地震の起こり方、岩石や化石の種類、地層の成り方について学習します。何事にも関心をもって、積極的に授業に参加し、グループやクラスの友達と協力しながら学習を進めていくことが大切です。新しい発見やいろいろな驚きを味わいながら、たくさんのことを学んでいきましょう。
英語	小学校の外国語活動では、英語の音や生活に役立つ表現などに慣れ、英語を楽しんで話すことができたことを目標としてきました。中学校では、さらに英語のできるが増えていきます。英語を聞いたり読んだりして理解し、さらには自分の考えを話したり書いたりする活動へと広げていけるようになります。授業では「目」、「耳」、「口」、「からだ」をフルに使い、家庭では「手」をいっぱい使って、学習したことを確実に身に付けましょう。

# 1年生の国語 【Japanese】

## 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

### (1) 予習

- 教科書の本文を通読する。(特に詩・短歌・俳句・小説は)声に出して読むのがよい。
- 読めない漢字や難しい語句の意味(対義語・類義語・用例)を、辞書を引いて調べる。
- 指定された内容・方法で漢字の練習をする。

### (2) 復習

- 教科書の本文を音読する。その際、学習したことを生かし、表現上の工夫を生かしながら読むようにする。
- 新出漢字や難しい語句を用いた短文づくりをする。
- 読めない・書けない漢字の練習をする。
- ノートやワークシートを自分でまとめ直してみる。



## 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

- 教科書会社「東京書籍」の Web ページ……学習内容に関連する資料が利用できる。
- 「いばらきオンラインスタディ」……予習、復習ができる。
- e ライブラリ……学年にかかわらず予習、復習ができる。
- アプリ「中学国文法」……文法について確認ができる。
- アプリ「教科書トレーニング」……漢字の練習ができる。

## 3 定期テストの前には

- 本文を読み、ノートやワークシートと照らし合わせて、学習内容を復習する。重要事項は自分でまとめ直す。
- 新出漢字を含む、テスト範囲で示された箇所の漢字の読み書きができるようにする。
- 教科書の脚注にある語句の復習をする。(意味・類義語・対義語・短文づくり)
- 「書く」や作文が出題範囲の時は、教科書巻末にある作文題材例を使って、200字程度の作文を書くことができるようにする。
- 授業や課題で単元の問題練習を行っている時には、必ず解き直して、疑問点は解決しておく。

## 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 普段から読書に親しみ、いろいろなジャンルの本を読むようにしましょう。
- 「漢字検定」に積極的に挑戦しよう。(漢字だけでなく、言葉の学習にもなる。)
- 新聞のコラムや社説を読み、視写したり、難しい言葉を調べたり、200字程度で内容の要約や、自分の考えを述べる練習をすとなおよい。
- 日常生活で、言葉づかいを気にする習慣を付けよう。(例えば、テレビのインタビューで「ら抜き言葉」が流れても、字幕では「ら」が入っていたりする。)
- 場面に応じた適切な言葉づかい(敬語を含む)を心がけよう。
- 小学校で学んだ漢字は、社会人になっても大切な知識である。常用漢字については普段から(もちろん他教科の学習でも)面倒がらずに、書くように心がけよう。

# 1年生の社会 【Social studies】

## 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

### (1) 予習

その日に学習する内容を前もって知っておくことで、その日の学習に意欲的に取り組むことができます。

○その日に学習する教科書のページを必ず読むようにする。重要語句(大切なキーワード)だと思ふところにアンダーラインを引く。

○歴史:教科書の歴史年表で、時代の流れを確認する。

○地理:地図帳で地名や位置の確認をする。



### (2) 復習

授業で使用しているノートの内容を自主学習ノートにもう一度書いてみることで理解を深めよう。

その日に学習した内容はその日のうちにもう一度振り返ろう。

○歴史:なぜその出来事が起きたのか、理由を考えながらノートにまとめる。

「歴史の流れ」を意識しながら年表にしてまとめていく。

○地理:学習した内容を地図上でまとめていくと、どこで起きている出来事なのかが分かりやすい。

さらに地域ごとの「つながり」も見えてくる。

## 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

○「いばらきオンラインスタディ」…予習、復習ができる。

○e ライブラリ…学年にかかわらず予習、復習ができる。

○アプリ「都道府県パズル」…都道府県庁所在地を覚えられる。

○アプリ「世界地図パズル」…世界の国々が覚えられる。

○アプリ「GoogleEarth」…画面上で、世界中に行くことができる。

○Web サイト「NHK for School」…学習内容の確認ができる。



## 3 定期テストの前には

○一問一答の問題に取り組んだり、単語帳などを活用したりして基本用語を理解する。

○教科書の重要語句(太字のもの)を漢字で書くことができるようにする。

○ワークブックを繰り返し学習する。

同じような問題に何度も取り組むことで、確実に理解できるようにする。

間違えたところや忘れてしまっていたところは、そのままにしないで、ノートにまとめておくと、理解が深まる。

○統計資料や図表などの資料から分かることをまとめる。

## 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

○毎日のニュースや新聞を読んで、茨城県、日本、世界の出来事を知り、自分の考えをまとめてみよう。

○他教科等で学習したことと、社会科で学習したことを関連付けてみよう。

○教科書、資料集、地図帳、年表などを複数の資料を使ってまとめたり、自分の考えをまとめたりしよう。

○興味をもった国について、地図帳を見る習慣を付けておこう。

# 1年生の数学

# 【Mathematics】

## 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

### (1) 予習

- 教科書の例題を解いてみる。
- 教科書の解き方の説明をしっかりと読む。
- 分からないところや疑問点をはっきりさせておく。

### (2) 復習

- 授業でやった例題、練習問題をもう一度やってみる。
- できなかった問題は、教科書やノートで解き方を確かめ、もう一度やってみる。
- 問題集で同様の問題をやってみる



## 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

- 「いばらきオンラインスタディ」
  - ・予習、復習ができる。
- e ライブラリ
  - ・学年にかかわらず、予習、復習ができる。
- アプリ「数学検定」
  - ・数学検定の学習ができる。
- ワークに掲載された QR コード
  - ・解き方を確認できる。



## 3 定期テストの前には

- 教科書の例題をもう一度解き、学習したことを確認する。
- 解き方や公式を整理する。
- 試験範囲にあたる教科書の問題、配付されたプリント、自分に合った問題集を繰り返し行う。
- 分からない問題は、先生や友達に解き方を教えてもらう。

## 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 時間を決めて、毎日問題を解こう。
- 問題を速く正確に解けるよう、繰り返し練習に取り組もう。
- 生活の中で使われている数学に関心をもとう。
- パズルやクイズなどを通して、発想の転換や柔軟な考え方を鍛えよう。
- 数学検定に挑戦しよう。

# 1年生の理科 【Science】

## 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

### (1) 予習

- 教科書で次の授業で行う観察や実験の方法を確認したり、予想を立てたりする。
- 教科書にのっている重要語句の意味を調べる。
- 教科書の「トピック」を読んで確認する。
- 教科書の各単元のはじめには、「これまでに学習したこと」と、「これから学習すること」を読んで確認する。



### (2) 復習

- 教科書とノート、プリントを使って、その日に学習した「授業のポイント」を理解しているかを確認する。自主学习ノートに、学習内容を整理しながらまとめたり、重要語句を繰り返し練習したりする。
- 教科書の「問い」、「章末問題」、「単元末問題」に取り組む。
- ワークを使っている様々な問題に繰り返し取り組む。
- 教科書の写真を見て、授業で観察、実験した内容と比較し、実生活で活用されている技術について調べる。

## 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

- 「いばらきオンラインスタディ」…予習、復習ができる。
- eライブラリ…学年にかかわらず予習、復習ができる。
- Webサイト「NHK for School」（令和4年度）
  - ・「10min.ボックス」…分かりやすい実験やCGで、学習内容を視覚的に確認できる。
  - ・「ACTIVE10」…日常に潜む自然現象の気付きが得られる。
  - ・「カガクノミカタ」…科学の見方を身に付けることができる。
  - ・「考えるカラス」…科学の考え方を育むことができる。
- アプリ「GoogleEarth」…地域の環境や地形を確認できる。



## 3 定期テストの前には

- 教科書、ノート、プリント、ワーク、問題集などを復習する。
- 自分で復習しても理解できなかったところを整理しておき、早めに先生に相談・質問する。
- 自信をもって解いたり、説明したりできるようになるまで繰り返し練習問題に取り組む。
- 重要語句、公式、ポイントを確認し、繰り返し書いて覚える。

## 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 自然科学に進んで関わったり、日常生活の中での出来事を科学的な視点で見たりしよう。  
日常見られる自然現象に対して「なぜ、どうして。」と、普段から考える習慣を付けましょう。
- 安全に留意して、身近な自然の様子を観察したり、自然とふれあったりしよう。  
(どこにどんな生物が生息しているか、季節ごとの星座や天気の変化の観察、いろいろな地域の地層や化石の様子の観察、まれにみられる流星群や日食、月食の観察など。)
  - 日常生活の中で、科学技術が利用されている例や仕組みについて調べよう。  
(遺伝子組み換え技術、太陽光発電、タッチパネルの仕組みなど。)
  - 自然科学に関係のあるテレビ番組や新聞、科学雑誌の記事から様々な情報を得てみよう。  
(最新情報を得たり、特集されている内容で理解を深めたり、いろいろな人の考え方を知る。)
  - 興味をもったことや疑問に思ったことを調べよう。(図書館・博物館・科学技術館・動物園・水族館などを利用して)





# 1年生の英語

# 【English】

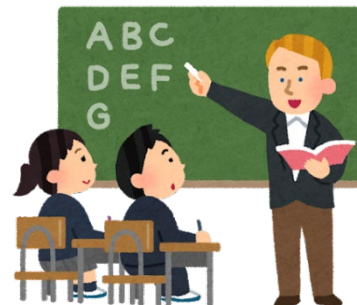
## 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

### (1) 予習

- 新しく学習する単語や基本文に目を通す。
- 先生から指示されたやり方に従って学習の準備をする。

### (2) 復習

- 授業で学習した教科書本文を音読する。  
→発音(アクセント)やリズムなどに注意して読む。
- 授業で学習した教科書本文を、教科書を見て繰り返し書く。
- ワークを解いて、学習した単語や基本文を確認する。
- 学習した単語や基本文を使って、自分のことについて書いてみる。



## 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

- 教科書…QRコードを読み取り、英語音声を再生することで、音読の参考になる。
- 「いばらきオンラインスタディ」…予習、復習ができる。
- eライブラリ…学年にかかわらず、予習、復習ができる。
- 動画共有サイトやSNS等…好きなドラマ、有名人等の話題から、「生きた英語」にふれることができる。
- ラジオ番組、ニュースチャンネル…毎日、英語を聞くとリスニングアップにつながり、幅広いジャンルの情報にふれることができる。
- 録音・録画機能…自分の音読を学習用タブレット端末に録音し、お手本との違いを意識して、繰り返し音読できる。
- 辞書機能…英作文の添削に活用することができる。
- Google翻訳のマイク機能…英語の発音をチェックできる。

## 3 定期テストの前には(リスニングテスト含む)

- テスト範囲の教科書本文を繰り返し音読する。
  - テスト範囲の教科書本文を見て、繰り返し書く。
  - テスト範囲のワークを繰り返し解く。  
→特に、間違えたところを重点的に解く。
  - 学習した単語や基本文を使って、自分のことについて書く。
  - リスニングの練習も併せて行いましょう。
- ※定期テスト以外に設定されるパフォーマンステストもしっかりと準備して臨みましょう。

## 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 英語を身に付けるための一番の近道は、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4つの方法でたくさん英語を使うこと。間違いながら活用し続けることで力をつけよう。自分のこととして、自己表現もたくさん挑戦しよう。
- 学校…授業は、基本的に英語で参加しよう。ALTや英語科の先生と積極的に英語でコミュニケーションをとろう。  
英語を使えば使う程、その場でチェック&指導してもらって、その場で力がどんどん身に付けよう。
  - 自宅…授業の内容の復習を中心に、声(話す・読む)と手(読む・書く)を使って、自分の気持ちや考えをノートに書こう。テレビやラジオなどの英語番組を視聴しよう。好きな映画やアニメ、ドラマを繰り返し見てみよう。
  - 校外…資格試験(実用英語検定試験等)やコンテスト等に、積極的にチャレンジしよう。

## 2・3年生の国語 【Japanese】

### 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

#### (1) 予習

- 教科書の本文を通読する。(特に詩・短歌・俳句・小説は)声に出して読むのがよい。
- 読めない漢字や難しい語句の意味(対義語・類義語・用例)は辞書を引いて調べる。
- 指定された内容・方法で漢字の練習をする。



#### (2) 復習

- 教科書の本文を音読する。その際、学習したことや表現上の工夫を生かしながら読むようにする。
- 新出漢字や難しい語句を用いた短文づくりをする。
- 読めない・書けない漢字の練習をする。
- ノートやワークシートを自分でまとめ直してみる。
- 内容がジャンル別(「説明文」「小説」「古文」「詩」「文法」など)に分かれている問題集を購入して解いてみる。(初めは薄いものから。2年生後半からは、中学校で紹介される高校入試用問題集を、受験まで何回も解いてみるのが効果的かつ経済的。)

### 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

- 教科書会社「東京書籍」のWebページ…学習内容に関連する資料が利用できます。
- 「いばらきオンラインスタディ」…予習、復習ができます。
- eライブラリ…学年にかかわらず予習、復習ができます。
- アプリ「中学国文法」…文法について確認することができます。
- アプリ「教科書トレーニング」…漢字の練習ができます。

### 3 定期テストの前には

- 本文を読み、ノートやワークシートと照らし合わせて、学習内容を復習する。重要事項は自分でまとめ直す。
- 新出漢字を含む、テスト範囲で示された箇所の漢字の読み書きができるようにする。
- 教科書の脚注にある語句の復習をする。(意味・類義語・対義語・短文づくり)
- 「書く」や作文が出題範囲の時は、教科書巻末にある作文題材例を使って、200字程度の作文が書けるようにする。
- 授業や課題で単元の練習問題を行っている時には、必ず解き直して疑問点は解決しておく。

### 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 普段から読書に親しみ、いろいろなジャンルの本を読むようにしましょう。
- 「漢字検定」に積極的に挑戦しよう。(漢字だけでなく、言葉の学習にもなる。)
- 新聞のコラムや社説を読み、視写したり、難しい言葉を調べたり、200字程度で内容の要約や、自分の考えを述べる練習をすとなおよい。
- 日常生活で、言葉づかいを気にする習慣を付けよう。(例えば、テレビのインタビューで「ら抜き言葉」が流れても、字幕では「ら」が入っていたりする。)
- 場面に応じた適切な言葉づかい(敬語を含む)を心がけよう。
- 小学校で学んだ漢字は、社会人になっても大切な知識である。常用漢字については普段から(もちろん他教科の学習でも)面倒がらずに、書くように心がけよう。

## 2・3年生の社会

## 【Social studies】

### 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

#### (1) 予習

教科書に書かれている内容を、少しでも「知っておく」ことでその日の学習に意欲的に参加できる。  
大切だと思うところにはアンダーラインを引く。

- 歴史:教科書の歴史年表で、時代の流れを確認する。
- 地理:地図帳で地名や位置の確認をする。
- 公民:毎日のニュースをチェックし、日本の政治や経済、国際情勢について知る。



#### (2) 復習

授業中に書いたノートを、もう一度、つながりを意識して自主学習ノートに書いてみると、理解を深めよう。

- 歴史:なぜその出来事が起きたのか、理由を考えながらノートにまとめる。  
「つながり」(=歴史の流れ)を意識しながら年表にしてまとめていく。
- 地理:学習した内容を地図上でまとめていくと、どこで起きている出来事なのかが分かりやすい。  
さらに地域ごとの「つながり」も見えてくる。
- 公民:教科書の図をノートに写しながら、理解するようにする。  
現代社会のしくみを理解することができる。

### 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

#### ○「いばらきオンラインスタディ」

- ・予習、復習ができる。

#### ○e ライブラリ

- ・学年にかかわらず予習、復習ができる。

### 3 定期テストの前には

- 一問一答の問題に取り組んだり、単語帳などを活用したりして基本用語を理解する。
- 教科書の重要語句(太字のもの)を漢字で書くことができるようにする。
- ワークブックを繰り返し学習する。同じような問題に何度も取り組むことで、確実に理解できるようにする。  
間違えたところや忘れてしまっていたところは、そのままにしないで、ノートにまとめておくと、理解が深まる。
- 統計資料や図表などの資料から分かることをまとめる。

### 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 毎日のニュースや新聞を読んで、茨城県、日本、世界の出来事を知り、自分の考えをまとめてみよう。
- 他教科等で学習したことと、社会科で学習したことを関連付けてみよう。
- 教科書、資料集、地図帳、年表などを複数の資料を使ってまとめたり、自分の考えをまとめたりしよう。
- 興味をもった国について、地図帳を見る習慣を付けておこう。

**1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね**

## (1) 予習

- 教科書の例題を解いてみる。
- 教科書の解き方の説明をしっかりと読む。  
→これまで学習したことを確認する。
- 分からないところや疑問点をはっきりさせておく。

## (2) 復習

- 授業でやった例題、練習問題をもう一度やってみる。
- できなかった問題は、教科書やノートで解き方を確かめ、もう一度やってみる。
- 問題集で同様の問題をやってみる。

**2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます**

- 「いばらきオンラインスタディ」  
・予習、復習ができる。
- e ライブラリ  
・学年にかかわらず、予習、復習ができる。
- アプリ「数学検定」  
・数学検定の学習ができる。
- ワークに掲載された QR コード  
・解き方を確認できる。
- 茨城県や千葉県の過去の入試問題  
・検索して解いてみよう。問題の傾向が知ることができる。

**3 定期テストの前には**

- 教科書の例題をもう一度解き、学習したことを確認する。
- 解き方や公式を整理する。
- 試験範囲にあたる教科書の問題、配付されたプリント、自分に合った問題集を繰り返し解く。
- 分からない問題は、先生や友達に解き方を聞いて理解する。

**4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス**

- 時間を決めて、毎日問題を解こう。
- 問題を速く正確に解けるよう、繰り返し練習に取り組もう。
- 生活の中で使われている数学に関心をもとう。
- パズルやクイズなどを通して、発想の転換や柔軟な考え方を鍛えよう。
- 数学検定に挑戦しよう。

## 2・3年生の理科 【Science】

### 1 毎日の学習 こんな学習ができるといいですね

#### (1) 予習

- 教科書で次の授業で行う観察や実験の方法を確認したり、予想を立てたりする。
- 教科書にのっている重要語句の意味を調べたり、「トピック」を読んで確認したりする。
- 教科書の各単元のはじめには、「これまでに学習したこと」と、「これから学習すること」がのっているのので、読んで確認する。



#### (2) 復習

- 教科書とノート、プリントを使って、その日に学習した「授業のポイント」を理解しているかを確認する。  
自主学習ノートに、学習内容を整理しながらまとめたり、重要語句を繰り返し練習したりする。
- 教科書の「問い」、「章末問題」、「単元末問題」に取り組み、基礎的な力を身に付ける。  
ワークを使っていろいろな問題を繰り返し解いて、実力を付ける。過去の入試問題に挑戦するのもよい。
- 実験の方法などを振り返り、なぜそういう結果になったのかを確認する。
- 重要な語句や公式を整理し、覚える。

### 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

- 「いばらきオンラインスタディ」……予習、復習ができる。
- e ライブラリ……学年にかかわらず予習、復習ができる。
- Web サイト「NHK for School」（令和4年度）
  - ・「10min.ボックス」……分かりやすい実験やCGで、学習内容を視覚的に確認できる。
  - ・「ACTIVE10」……日常に潜む自然現象の気づきが得られる。
  - ・「カガクノミカタ」「考えるカラス」……科学の見方や考え方を身に付けることができる。
- アプリ「GoogleEarth」……地域の環境や地形を確認できる。

### 3 定期テストの前には

- 「何が理解できていて、何が理解できないのか」を自分で分析し、自分にあったテスト対策をしよう。
- 教科書、ノート、プリント、ワーク、問題集などを復習する。
  - 自分で復習しても理解できなかったところを整理しておき、早めに先生に相談・質問する。
  - 自信をもって解いたり、説明したりできるようになるまで繰り返し練習問題に取り組む。
  - 重要語句、公式、ポイントを確認し、繰り返し書いて覚える。

### 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 自然科学に進んで関わったり、日常生活の中での出来事を科学的な視点で見たりしよう。  
日常見られる自然現象に対して「なぜ、どうして。」と、普段から考える習慣を付けよう。
- 安全に留意して、身近な自然の様子を観察したり、自然とふれあったりしよう。  
(どこにどんな生物が生息しているか、季節ごとの星座や天気の変化の観察、いろいろな地域の地層や化石の様子の観察、まれにみられる流星群や日食、月食の観察など。)
  - 日常生活の中で、科学技術が利用されている例や仕組みについて調べよう。  
(遺伝子組み換え技術、太陽光発電、タッチパネルの仕組みなど。)
  - 自然科学に関係のあるテレビ番組や新聞、科学雑誌の記事から様々な情報を得てみよう。  
(最新情報を得たり、特集されている内容で理解を深めたり、いろいろな人の考え方を知る。)
  - 興味をもったことや疑問に思ったことを調べよう。(図書館・博物館・科学技術館・動物園・水族館などを利用して)



## 2・3年生の英語 【English】

### 1 毎日の学習こんな学習ができるといいですね

#### (1) 予習

- 新しく学習する単語や基本文に目を通す。
- これまでに学習したことを生かして教科書本文を音読し、むずかしかったところはチェックしておく。
- 先生から指示されたやり方に従って学習の準備をする。

#### (2) 復習

- 授業で学習した教科書本文を何度も音読する。
  - ① 文字を見ながら、英語らしい発音で音読する。
  - ② 意味のまとまり(センズグループ)ごとに音読する。
  - ③ 伝えるために大切な単語や表現を工夫(デリバリー)しながら音読する。
- 授業で学習した教科書本文を、音読しながら繰り返し書く。
- ワークに取り組み、学習した単語や基本文を確認する。
- 学習した単語や基本文を使って、自分のことについて話したり書いたりする。
- 教科書の内容について、自分のこととして書き直したり、内容について自分の考えや気持ちを書いたりする。
  - 書いた文は、必ず先生に添削してもらい、必ず清書する。

### 2 学習用タブレット端末を使うとこんな学習もできます

- 「いばらきオンラインスタディ」
  - ・予習、復習ができる。
- e ライブラリ
  - ・学年にかかわらず、予習、復習ができる。
- 動画共有サイトや SNS 等
  - ・好きなドラマ、有名人等の話題から、「生きた英語」にふれることができる。
- ラジオ番組、ニュースチャンネル
  - ・毎日、英語を聞くとリスニングアップにつながり、幅広いジャンルの情報にふれることができる。
- 録音・録画機能
  - ・自分の音読を学習用タブレット端末に録音し、お手本との違いを意識して、繰り返し音読できます。
- 辞書機能
  - ・英作文の添削に活用することができる。
- Google翻訳のマイク機能
  - ・英語の発音をチェックできる。



### 3 定期テストの前には

- 意味が分かるようになるまで、テスト範囲の教科書本文を音読する。
- 教科書本文を見て、繰り返し書く。
- ワークに取り組み、苦手としているところを分かるまで取り組む。
- 学習した単語や基本文を使って、自分のことについて書く。
  - 英文は1文で終わらせず、さらに詳しい情報や自分の考えや気持ち、理由も書く。
- 授業で行った自己表現活動(スピーチや劇等)を、正確に書けるようになるまで練習する。

### 4 さらに力を伸ばすためのワンポイントアドバイス

- 英語を身に付けるための一番の近道は、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4つの方法でたくさん英語を使うこと。間違いながら活用し続けることで力をつけよう。自分のこととして、自己表現もたくさん挑戦しよう。
- 学校・・・授業は、基本的に英語で参加しよう。ALTや英語科の先生と積極的に英語でコミュニケーションをとろう。
    - 英語を使えば使う程、その場でチェック&指導してもらって、その場で力がどんどん身に付けよう。
  - 自宅・・・授業の内容の復習を中心に、声(話す・読む)と手(読む・書く)を使って、自分の気持ちや考えをノートに書こう。テレビやラジオなどの英語番組を視聴しよう。好きな映画やアニメ、ドラマを繰り返し見てみよう。
  - 校外・・・資格試験(実用英語検定試験等)やコンテスト等に、積極的にチャレンジしよう。



# 家庭学習の目標

1年生

こんな力を付けたい	力を付けるための家庭学習の取組

2年生

こんな力を付けたい	力を付けるための家庭学習の取組

3年生

こんな力を付けたい	力を付けるための家庭学習の取組



月ごとの学習の振り返り

1年

月	学 習 の ふ り 返 り	担任印	保護者から
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			

月ごとの学習の振り返り

2年

月	学 習 の ふ り 返 り	担任印	保護者から
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			

月ごとの学習の振り返り

3年

月	学 習 の ふ り 返 り	担任印	保護者から
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			

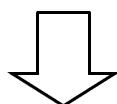
### 3年間の自分を見つめてみよう

次の表を使って、今年1年間の自分の家庭学習を振り返ってみましょう。

また、1年間の家庭学習の成果や課題をまとめましょう。

◇評価の仕方 4…よい 3…ややよい 2…ややわるい 1…わるい

項 目	1年生	2年生	3年生
決まった時間に毎日やる。	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
集中して学習する。	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
正しい姿勢で、丁寧な字を書く。	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
家庭学習の目安の時間を行う。	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
自主的に家庭学習に取り組む。	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
定期テスト前に学習の計画を立てて取り組む。	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1
毎月の家庭学習の取組を振り返り、以後の学習に役立てる。	4・3・2・1	4・3・2・1	4・3・2・1



1年間の家庭学習の成果と課題	
1年生	
2年生	
3年生	



1年 組 番	氏 名
2年 組 番	
3年 組 番	